資料11

関西広域連合

令和８年度施策運営目標の中間評価について

令和８年１０月

関 西 広 域 連 合

（１）評価について

各事業において策定した施策運営目標に対して９月末現在の進捗状況（見込み）を把握し、次の基準により自己評価を行う。

【評価と基準】

Ａ　目標達成（目標達成済み）

Ｂ　ほぼ計画どおりに進んでいる（目標達成に向けスケジュールどおりに進んでいる／目標の５割以上を達成済みなど）

Ｃ　計画どおりに進んでいない（想定したスケジュールどおり進んでいない／目標の達成が困難な見通しなど）

－　（アウトプット）事業未実施、（アウトカム・達成数値）事業未実施又は実施中のため評価未確定

（２）評価結果

評価	アウトプット	アウトカム
Ａ	7	7
Ｂ	55	17
Ｃ	0	1
－	9	46
計	71	71

令和８年度施策運営目標の中間評価について

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域防災	1	大規模広域災害を想定した広域対応の推進	1	「広域防災拠点による支援体制のあり方検討結果（令和7年度）」、「国・防災基本計画修正（R8年夏頃予定）」等を踏まえ、関西防災・減災プラン（総則編、地震・津波災害対策編）の改訂を行う	関西防災・減災プランの改訂等による、関西圏域の防災力の向上	－	令和8年熊本地震等を踏まえ関西防災・減災プランの改訂内容を整理中	－	－
			2	災害時相互応援協定を締結している九都県市等との訓練の相互参加や情報交換の実施 訓練への参画：2か所以上	相互応援体制の強化による災害対応能力の向上	B	九都県市合同防災訓練に参画	－	－
	2	災害時の物資供給等の円滑化の推進	1	関西防災・減災プラン等の実効性を高めるため、関係機関が習得すべき知識・技能に焦点を当てた訓練等の実施	広域応援訓練等の参加者アンケートで「知識・技術を修得できた」と回答した割合：85%以上	－	10月以降の実施に向けて調整中	－	－
	3	防災・減災事業の推進	1	災害時帰宅支援ステーション事業のポスター掲出等による普及・啓発、「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」の改訂、帰宅困難者対策訓練の実施 ①掲出協力店舗総数：12,450店舗以上 ②関西広域帰宅困難者対策訓練：１回	災害時帰宅支援ステーション事業の新規協定締結数：１件	B	①12,667店舗 ②実施に向けて調整中	C	帰宅困難者対策訓練での普及啓発を調整中
			2	防災担当職員等の災害対応能力の向上を図る研修の実施 ①研修実施回数：４回 ②研修参加者アンケートによる研修満足度85%以上	研修参加者アンケートで「知識・技術を修得できた」と回答した割合：85%以上	－	10月以降の実施に向けて調整中	－	－
			3	「防犯防災総合展」等の防災イベントへの出展 出展回数：６回	防災イベント等における出展ブース来場者数：1,500人以上	B	３回	B	900人
			4	防災庁地方拠点設置に向け、防災イベント等の機会を捉えてセミナー、シンポジウムを開催 セミナー実施：２回	セミナー受講者数：200人以上	A	２回	B	193人 2月にセミナー開催予定

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域観光・文化・スポーツ振興（観光振興）	1	文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	1	国内外観光客の誘客と関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する共通のテーマの観光資源の磨き上げを行い、「テーマツーリズム」を推進 「工芸」をテーマとした広域周遊観光ルートの造成：2ルート	テーマツーリズム等を通じて関西の魅力をPRすることにより、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る	B	実施に向けて調整中	－	－
	2	関西の多様な魅力を活かした広域周遊観光の更なる推進	1	「関西」を魅力ある観光圏として海外に発信するため、構成府県市や関西の経済界等との連携により、観光プロモーションを戦略的に実施 海外向けプロモーション等の実施回数：3回	海外在住の訪日検討層に対するアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合：57%以上	B	実施に向けて調整中	－	－
	3	受入環境の整備	1	全国通訳案内士登録業務の実施、通訳案内士育成のための研修会の開催 研修受講者数：200人以上	通訳案内士育成のための研修会受講者の習熟度：80%以上	A	260人	－	アンケート集計中
			2	関西圏域内の観光情報サイト「The Gate to KANSAI」等へ誘導することにより、訪関西観光客に旅ナカ情報を提供 ①「The Gate to KANSAI」の年間訪問者数：120万人以上 ②年間閲覧数：400万PV以上	海外在住の訪日検討層に対するアンケートで「関西に行きたい」と回答した割合：57%以上	B	コンテンツの充実や継続的なSNSの発信等に取り組んでいる	－	－
	4	観光振興のための連携強化	1	官民一体で設立した（一財）関西観光本部等と協力し、様々な観光プロモーションを戦略的に実施 官民連携による海外メディア招請及び情報発信、商談会への出展回数：3回	訪日外国人の関西（近畿運輸局管内）での平均泊数　6.0泊以上	B	関西観光本部において、訪日外国人旅行者の関西への誘客に向け、プロモーション等に取り組んでいる	－	－
広域観光・文化・スポーツ振興（文化振興）	1	多様な文化資源の振興や魅力向上の推進	1	専用ホームページの多言語対応を行う 対応言語：2言語（日本語・英語）	専用ホームページPV数：6万PV	B	実施に向けて調整中	－	－
			2	「ミュージアムぐるっとパス・関西」の利用を促進し、文化観光をつなげるため、インフルエンサーを起用したショート動画による広報を行う ショート動画の制作・配信回数：7回	ショート動画の総再生回数：100万回（目標数値見直し）	B	5回	－	－
			3	関西エリアの文化芸術に関して、構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等を取りまとめ、関西広域連合ホームページで発信	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のPV数：700PV以上	B	ホームページを適宜更新し、情報発信	－	－
	2	連携交流による文化観光の推進	1	世界文化遺産、日本遺産をはじめとする関西の文化資源等を体験するプログラムを構築 構築するプログラム数：2以上	参加者アンケートで文化資源等への関心が高まったと回答した割合：90%以上	B	関西の文化資源等を体験するプログラムの企画に取組中	－	－
	3	文化と経済の好循環の推進	1	アーティストと企業などの異分野交流を推進し、新たな文化創造と文化芸術を活かした新たなビジネス創出や街づくりを促進 ①交流会の開催：1回 ②参加数：200人	参加者アンケートで文化分野への関心が高まったと回答した割合：70%以上	B	11月以降の実施に向けて調整中	－	－

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域観光・文化・スポーツ振興（スポーツ振興）	1	「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	1	こども・親子向けのスポーツイベントや大会等の開催 実施：1回	スポーツ交流大会参加者の満足度：85%以上	B	実施に向けて調整中	－	－
			2	デジタル技術を活用したウォーキング等のスポーツイベントの開催 実施：1回	参加人数：8,000人以上	A	1回	A	10,511人
			3	「関西マスターズゲームズ」の開催 ①広域大会：全構成府県市 ②地域大会：全構成府県市	参加人数 ①広域大会：7,000人以上 ②地域大会：85,000人以上	B	現在実施中	－	－
			4	「ワールドマスターズゲームズ関西」、「関西スポーツの日」、「関西スポーツ月間」を広報、啓発するキャンペーンやイベントの開催 全構成府県市実施	参加者数20,000人以上	B	現在実施中	－	－
			5	大型商業施設等PR効果の高いを会場において、府県市単位では開催が困難なパラスポーツ体験会の開催 体験会：7府県市実施	パラスポーツ体験会参加者の満足度：85%以上	B	現在実施中	－	－
			6	スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰の実施 実施：1回	全構成府県市から応募	B	現在実施中	－	－
	2	「スポーツの聖地関西」の実現	1	府県市単位では強化・育成が困難なパラスポーツのアスリート向け練習会の開催 練習会：5府県市実施	育成練習会参加者の満足度：85%以上	B	現在実施中	－	－
			2	実績のある著名な指導者等によるスポーツ指導者向け講習会の開催 実施：1回	指導者講習会参加者の満足度：85%以上	B	実施に向けて調整中	－	－
	3	「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	1	「関西広域サイクリングルート」について、ホームページ等による情報発信およびイベントの開催 実施：1回	参加人数：500人以上	B	現在実施中	－	－
広域観光・文化・スポーツ振興（ジオパーク推進）	1	文化や自然など多様な資源を活用した関西の魅力づくり	1	・大阪・関西万博でのジオパークのアピールを活かしたファムトリップ及び旅行商品造成を実施 ・国内外での各種イベント等でのプロモーションの展開 ・ジオパークのガイドスキル向上等を図るための研修の実施 ①各種イベント等でのプロモーション実施回数：5回以上 ②ジオパーク旅行商品の造成及び販促：3商品以上 ③ガイドスキル向上等を図るための研修実施回数：1回	ジオパーク拠点施設の入込客数：年80万人	B	①3回 ②取組中 ③1回	B	39.3万人（4～8月実績）

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域産業振興	1	関西の優位性を活かしたイノベーションの創出・発展	1	関西のディープテック・スタートアップを生み出すポテンシャルを訴求し、国内外の様々なスタートアップ、投資家、人材、企業の集積を目的に情報発信を実施 ①海外データベース等の登録：新規50件 ②国内外への、SNS、メディア等を使った情報の発信：50件 ③構成府県市が一体となった、イベントの開催：2回	「Global Startup Ecosystem Ranking」新興エコシステム部門：79位以上	B	①年度末登録予定 ②23件 ③今後実施予定	A	51-60位に向上
			2	海外に訴求力のある大規模展示会やイベントへの参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信し、国内外における関西の認知度・存在感の向上を図る ①BioJapanマッチング 申込件数：参加企業数×20件以上 ②BioJapan期間中、関西広域連合のパンフレットを手交：450部以上	BioJapanマッチング件数：参加企業数×6倍以上	B	①106件（令和8年9月4日時点）	-	-
			3	関西が高いポテンシャルを有するグリーン分野において、産学連携による製品開発や企業間連携によるビジネス機会の創出を促進するためのフォーラムを開催 フォーラムの参加者数：220人以上	フォーラム参加者アンケートで「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合：70%以上	B	12月10日に開催予定	-	-
			4	世界最大級のスタートアップイベントで広域連合ブースを出展し、海外のスタートアップ関係者に向けて、ディープテックを中心とした、関西の強み、ポテンシャルを発信 域内のスタートアップ企業4社の出展を支援	出展支援を行ったスタートアップのマッチング件数：160件以上	A	域内のスタートアップ企業4社を出展支援	A	232件
	2	高付加価値化による中堅・中小企業等の持続的成長	1	関西広域連合域内の公設試による企業に対する技術支援サービスに事業化支援機能を付加させ、域内の多様な機関が連携し、シームレスに企業を支援する広域的PFをオール関西で構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る ①「かんさいラボサーチ」アクセス件数：32,000件以上 ②公設試職員向け研修・交流会の参加者数：75名以上	①利用企業の満足度：80%以上 ②公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング（面談）の件数：25件以上	B	①14,723件 ②59名	B	①85.7% ②1件
	3	特色のある産業を活かした地域経済の活性化	1	［国内外向けプロモーション］ 関西が誇るものづくり技術やプロダクトのコアユーザーをさらに増やすため、地域に根差した伝統工芸等の製品展示や販売、ワークショップを複合させたプロモーションイベントを開催し、関西のものづくり産業のポテンシャルをPRすることで、関心をもつ層の拡大を図る ①イベントの開催：1回以上 ［海外向けプロモーション］ 海外とのビジネス交流のさらなる活性化に向け、先端技術や伝統工芸品などの5分野から注目企業を紹介するWEBサイトの運営など、関西の多様な産業や域内企業の魅力を国内のイベントを通じて海外へ発信する ②大規模展示会・商談会及び海外向けプレスリリース等におけるPR回数：3回以上	［国内外向けプロモーション］ ①来場者アンケートで「関西のものづくり産業について関心を持った」と回答した割合：80%以上 ［海外向けプロモーション］ ②海外向けWEBサイト閲覧数：1,000PV以上	B	［国内外向けプロモーション］ ①1月の実施に向けて調整中 ［海外向けプロモーション］ ②10月以降の実施に向けて調整中	B	［国内外向けプロモーション］ ①- ［海外向けプロモーション］ ②292PV
			2	域内中小企業を対象に人材確保や育成などの支援策や最新の産業情報を多様な媒体により発信 企業の先進的な取組等を取り上げたビジネス情報紙・WEB版の発行：4回	情報紙読者の満足度：75%以上	B	1回	-	-
			3	・域内市町村の創業支援事業に活用できるeラーニング教材の提供 ・企業の人材活用やデジタル化の取組み等についてのセミナーを開催 ①eラーニング教材の導入市町村：50市町村以上 ②セミナーの開催：1回以上	①利用市町村アンケートで「創業支援に有効であった」と回答した割合： 80%以上 ②セミナー参加者の満足度：75%以上	B	①56市町村 ②1月の実施に向けて調整中	-	-

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域産業振興 （農林水産部）	1	地産地消運動の推進による域内消費拡大	1	域内農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を「おいしい！KANSAI応援企業」に登録し、ホームページで登録企業の社食メニューやCSR活動等を紹介するほか、当該食堂で域内農林水産物のPRイベントを実施 登録施設数：新規登録10施設	新規登録企業へのアンケートで「今年度、域内食材を使用した」と回答した割合：80%以上	B	2施設	－	－
			2	域内特産農林水産物の利用促進とPRを図るため、学校給食に域内の特産農林水産物を提供するとともに、生産者団体等による出前授業を実施 域内農林水産物の提供学校数：32校	出前授業校へのアンケートで「域内農林水産物の理解が深まった」と回答した割合：80%以上	B	13校	－	－
			3	府県域を越えたイベントの支援を通じて、直売所間の交流促進及び新たな交流の創出を図る 直売所間交流回数：10回	イベントに出向いた店舗へのアンケートで「イベントに参加してよかった」と回答した割合：80%以上	B	直売所間交流準備中	－	－
	2	国内外への農林水産物の販路拡大	1	事業者の海外展開を促進するため、時流やニーズに即したテーマ及び講師を選定し、海外輸出セミナーをWEBで開催する ①セミナー開催：1回 ②参加者：200名以上	セミナー参加者へのアンケートで輸出に取り組むうえで「役に立った」と回答した割合：80%以上	B	実施に向けて調整中	－	－
			2	域内事業者の多様な販路の確保・拡大を図るため、大型量販店や外食産業などの食品関係バイヤーを招聘し、WEB型マッチング商談会を開催する ①バイヤー招聘：15社以上 ②商談機会の創出：100件以上	WEB型マッチング商談会の実施を通じて、域内事業者の新たな販路の開拓や取引先の獲得につながる成果を生み出し、継続的な販売機会の創出を図る ①満足度：80%以上 ②成約率：10%以上	B	①23社 （参加予定）	－	－
	3	都市との交流による農山漁村の活性化	1	・構成府県市の優良事例や交流施設等を紹介する「都市農村交流サイト」を運営するとともに、SNSを活用した情報発信 ・域内の都市農村交流施設を対象にデジタルスタンプラリーの実施 デジタルスタンプラリーの参加施設数：200施設	スタンプラリーユーザーへのアンケートで 「都市農山漁村交流施設を利用したい」と回答した割合：80%以上	B	141施設	－	－
			2	構成府県市における都市農村交流の優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う現地検討会を開催 現地検討会の開催：1回	検討会参加者へのアンケートで「今後の活動の参考になった」と回答した割合：80%以上	A	1回	A	100%

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
広域医療	1	ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実	1	「京滋ドクターヘリ」、「大阪府ドクターヘリ」及び「徳島県ドクターヘリ」の安定的な運航体制を確保	関西広域連合管内8機のドクターヘリによる効果的かつ効率的な運航の推進	B	運行停止時には、近隣県との相互応援協定等により、ドクターヘリによる救急搬送体制の確保を図った	－	全国の航空運送事業者と調整・交渉を進めるとともに、近隣県との連携強化を進める
			2	関西広域連合管内のドクターヘリ基地病院のフライトドクター・ナース等が情報共有・意見交換を行う「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」を開催 開催回数：1回	交流・連絡会参加者の満足度：70%以上	－	実施に向けて調整中	－	－
	2	災害時における広域医療体制の強化	1	被災地医療を統括・調整する災害医療コーディネーター養成研修を開催 開催回数：1回	研修参加者の満足度：80%以上	－	実施に向けて調整中	－	－
			2	「近畿府県合同防災訓練」等の広域的な災害医療訓練を実施 実施回数：年1回	連合管内参加DMAT数：30チーム	－	実施に向けて調整中	－	－
			3	衛星携帯電話の通信訓練や、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を実施 実施回数：年1回	通信訓練参加府県：5府県以上	－	実施に向けて調整中	－	－
	3	課題解決に向けた広域医療体制の構築	1	感染症対策に係る広域連携を必要に応じて行えるよう、情報共有等を継続して行うとともに、感染症担当者情報交換会を実施 実施回数：年1回	感染症対策に係る参加者の知識向上による体制強化	－	実施に向けて調整中	－	－
			2	危険ドラッグや大麻等薬物乱用の実態に対応した実務担当者会や研修会を開催 開催回数：1回	研修参加者の満足度：80%以上	－	実施に向けて調整中	－	－
広域環境保全	1	脱炭素社会づくり （地球温暖化対策）	1	関西脱炭素フォーラムにおいて、取組発表や交流の機会を創出することで、関西脱炭素社会の実現に向けた実践行動促進のための機運の醸成を図る 関西脱炭素フォーラムの参加者数：300名	関西脱炭素フォーラム参加者の満足度：80%以上	B	11月6日に開催予定	－	－
	2	自然共生型社会づくり （生物多様性の保全）	1	自然エリアを対象として、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み等の気付きを目的としたスタディツアーを実施 実施回数：1回	スタディツアー参加者の満足度：80%以上	B	10月24日に実施予定	－	－
			2	・関西地域カワウ広域管理計画（第4次）に基づき、カワウ生息動向調査、飛来数および被害状況・対策状況の把握、対策検証事業の広域展開・計画作成支援を実施 ①カワウ生息動向調査：年3回 ②被害地への飛来回数、被害状況・対策状況の把握：年1回 ③カワウ対策検証事業の広域展開または計画作成支援：年1回	漁協等が被害対策に取り組む構成府県：7府県	B	①2回	A	7府県
			3	ニホンジカやツキノワグマ、外来獣等対策の推進 ①野生鳥獣対策の検討会議および有害鳥獣捕獲体制検討会の開催：5回 ②構成府県市に対するクマ対策の支援のための研修会の実施：1回 ③検討会議および研修会の参加者数：延べ60人以上	検討会議等参加者の満足度：80%以上	B	①1回	－	－
	3	循環型社会づくり （サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行）	1	・マイボトルスポットMAPとOsakaほかさんマップの統合、マイボトル利用促進に資する啓発の実施 ・事例集の作成及び啓発イベントの実施等を通して、ファッションロス削減に向けた機運を醸成 スポットMAP登録数新規登録：250以上	マイボトルスポットMAPアクセス数：12,000件	B	・Osakaほかさんマップの統合に向けて調整中 ・ファッショロス削減に向けて業界団体との連携協議を実施	A	12,783件
	4	持続可能な社会を担う人育て （環境学習の推進）	1	・地域特性を活かした交流型環境学習事業の実施 ・持続可能な社会の担い手となる若い世代と関西の環境保全団体等とのネットワーク形成を促進するシンポジウムの開催 ①学習船「うみのこ」親子体験航海の開催：2回、京都府自然体験教室の開催：2回 ②KANSAI環境×若者シンポジウムの開催：1回	各イベントにおいて目標が達成されたと感じる参加者の割合：90%以上	B	①「うみのこ」親子体験航海の開催：1回 （11月までに各回実施予定） ②12月の実施に向けて調整中	－	－
資格試験・免許	1	資格試験、免許事務の着実な推進	1	試験委員会との高度な連携のもと精度の高い問題検証行程の確立、出題品質の向上	不適切問題の件数：0件	B	委員会・調整部会ともに計画どおり実施できている	B	0件
			2	・免許申請に対して正確かつ迅速な免許等の交付 ・非行免許所有者に対する厳正な対処と准看護師については再教育研修の適正な実施	免許交付処理期間の維持：30日以内	B	免許交付事務を正確、迅速に実施できている	B	30日以内を維持できている
広域職員研修	1 2 3	幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 構成団体間の相互理解及び職員間のネットワークの活用 研修の効率化	1	政策形成能力研修の実施 受講者の研修内容に係る満足度：90%以上	受講者の知識・技術の修得度合：90%以上	B	11月以降の実施に向けて調整中	－	－

分野事務局等	施策運営目標		アウトプット（主な取組）・目標数値		アウトカム・目標数値	評価			
						アウトプット・達成状況		アウトカム・達成状況	
企画調整	1	広域交通インフラ機能強化、整備促進	1	道路、空港、港湾、北陸新幹線・リニア中央新幹線等の整備について、国への要望を実施	広域インフラマップ（道路）掲載路線における新規供用区間数：3区間以上	B	令和9年度国の施策・予算に対する提案及び与党・関係省庁への要請活動を実施	－	－
	2	プラスチック対策の推進	1	・プラスチック代替素材製品の開発・製造・販売に資する情報、その普及に向けた課題や対応策・取組事例等を盛り込んだ情報集や、プラスチックごみ散乱状況推計モデル利活用マニュアルの利用拡大を図るための自治体・事業者等のセミナー、研修会の開催 ・関係各主体と課題の情報の共有を行い、プラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換や各方面の情報収集を行うプラットフォーム会議の開催 ①自治体・事業者等向け研修会の開催：1回 ②プラットフォーム会議の開催：1回	①セミナー・研修会の参加者アンケートで研修会を有益と回答した参加者：80%以上 ②参加者アンケートでプラットフォーム会議での情報を有益と回答した参加者：80%以上	B	研修会やプラットフォーム会議の開催に向けて準備中	B	研修会やプラットフォーム会議の参加者が有益な情報を入手できるよう、テーマや内容を検討中
	3	エネルギー政策の推進	1	関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを運営し、水素セミナー、意見交換会、施設見学会等の交流会を開催 ①交流会の累計参加者数：80人以上 ②交流会の開催：計4回	参加者アンケートで、交流会の内容に「満足」または「やや満足」と回答した割合：80%以上	A	①198人 ②2回 今後も交流会を開催予定	B	93% 今後開催する交流会でもアンケート実施予定
	4	産学官連携によるイノベーションの強化・推進	1	関西健康・医療創生会議において、産学官連携による医療データの利活用や医療情報セキュリティ対策、広域救急・地域医療の府県域を越えた連携のあり方等に関するシンポジウム・セミナーを開催 シンポジウム・セミナー参加者：400人	参加者アンケートで「シンポジウム・セミナーの内容に満足した」と回答した割合：80%以上	A	544人	A	94.5%
	5	琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	1	・流域府県市で構成する水源保全連絡会議やシンポジウム等の実施により、流域の現状と課題を共有するとともに、水のつながりの理解の輪を広げ、多様な主体の連携を促進する	・水源保全等に関する現状と課題の共有 ・流域内の様々な主体による連携・協働の促進	B	シンポジウム開催に向け、関係各所と調整中	B	琵琶湖・淀川流域はもとより他の流域の団体等にもシンポジウムへの参画を調整中
	6	官民連携の推進	1	・関西における様々な課題等について意見交換を行う「関西経済界との意見交換会」の開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」の開催、「関西SDGsプラットフォーム」の運営	・関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進 ・女性活躍推進の機運醸成と意識啓発、関西SDGs達成に向けた連携・協働の促進及び理念の普及	B	8月に関西経済連合会との意見交換会を開催	B	意見交換会や会議を実施し、関西における様々な課題に対応するため、官民連携の取組を推進
	7	地方公共団体の情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化等、デジタル化の推進	1	・官民連携による関西のDX推進 ・関西圏域自治体向けのDXセミナー等の開催 ・構成団体の主要オープンデータ等を集約した「デジタルゲートウェイ」の充実 ・構成団体の取組状況調査及び知見の共有 ①セミナー開催回数：1回 ②オープンデータ新規掲載件数：1件以上	・関西圏域自治体のDXに向けた機運醸成 ・関西圏域自治体のオープンデータ整備・利活用促進 データ利活用のモデルケース創出：1件以上	B	「関西デジタル・マンス」やデータ利活用の実証事業等、官民連携による関西のDX推進に取り組んでいる	－	モデルケースの創出に向けた実証事業を今後実施予定
	8	ビジネスがより効率的に行える広域的な環境づくりに向けた様式・基準の統一の推進	1	「広域的な様式・基準統一検討会議」の下に、様式統一に係る2つの部会及び基準統一に係る1つの部会を設置し、構成府県市における状況の把握・共有及び共通化に向けた検討を実施	キッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用に際しての疑義事項等の整理	B	高圧ガス保安法部会を1回開催	B	キッチンカー部会の構成府県市に対し、キッチンカーの営業許可基準の共通化に係る指針の運用に際しての疑義事項等を照会予定
	9	情報発信の推進	1	・定期的にメールマガジンを配信し、住民等へダイレクトに情報発信 ・ワールドマスターズゲームズ2027関西に関する情報等をSNSやホームページ等で積極的に発信 ①X（旧ツイッター）投稿数：110件 ②ホームページの「報道発表」「お知らせ」の掲載数：110回 ③メールマガジン発信回数：36回	①X（旧ツイッター）閲覧数：85,000件以上 ②ホームページ閲覧数：2,000,000ビュー以上 ③メールマガジン登録者数：5,100人以上	B	①28件 ②93回 ③19回	B	①規約改定により確認不可 ②1,185,522ビュー ③4,956人
	10	広域連携による行財政改革の推進	1	広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討に係る取組項目について、実現に向けた調査・検討を行う	令和9年度以降の取組方針及び実施内容を明確化し、具体的な取組内容を決定	B	「土木技術職員及び建築技術職員に係る人材の確保」及び「広域的な大学連携」の実現に向けた調査等を実施	B	調査結果等を踏まえ、構成府県市の広域行財政改革推進担当等と協議を行い、具体的な取組内容について検討
地方分権改革推進	1	分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	1	国の事務・権限の移譲等に向けて、国の予算編成等に対する提案、地方分権改革に関する提案募集の活用により、国に対して働きかけを行う	国の事務・権限の移譲等に向けた提案に国が応じ、国との間で具体的な協議に着手	B	国の施策・予算に対する提案、地方分権改革に関する提案募集を活用した国への提案を実施	B	地方分権改革に関する提案募集においては、提案内容の実現には至らなかった。
			2	・政府関係機関等の地方移転並びに機能向上を推進するため、政府機関と構成団体等の連携事業についての情報共有などを行う ・政府機関等の移転に係る情報発信を行う	・政府関係機関を含めた団体間による連携促進 ・政府機関等の移転に係る取組の認知度向上	B	・6月に政府機関等を含めた関係団体による会議を開催 ・文化庁と連携したセミナーを開催予定	B	政府機関を含めた複数団体間の連携を促進
			3	近畿市長会、近畿府県町村会長をはじめ管内の市町村代表者等との意見交換を実施 ①意見交換会：1回 ②情報提供：12回	意見交換会の開催及び情報提供による関西の課題等の認識共有	B	①1回 ②6回	B	人口減少社会における行政サービスの維持をテーマとして意見交換を実施